

- ◆ 今年3月の**大学等卒業予定者**に対する採用選考について、**約4割**の企業が「1月以降も募集を続ける」と回答。  
「**99人以下**」企業では**約6割**が募集を継続。

- ◆ **正社員**が「**不足**」「**やや不足**」していると回答した企業は、**前回調査に引き続き半数を超え、人手不足感**は高止まりしている。  
**非製造業**では、**6割を超える**企業が正社員不足と回答している。

- ◆ **12月の景況感**は9月調査より**改善**。**3か月後も更に改善**の見通し。

## 平成27年度 第3回ハローワーク雇用等短期観測調査の結果

平成28年1月28日 大阪労働局職業安定部

### ○調査目的

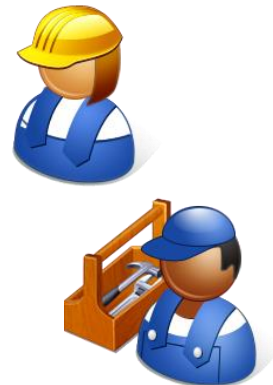
大阪労働局では、大阪府内の景気や事業活動による雇用への影響等を的確に把握するため、平成25年度から四半期毎にハローワークによる管内企業へのヒアリング調査を実施しています。今回、平成27年度第3回目の調査を実施しました。

○調査時期 平成27年12月1日（火）から平成27年12月28日（月）まで

○回答企業 321社

( )は構成比

産業別 規模別	産業計		
	産業計	製造業	非製造業
規模計	<b>321社</b>	162社 (50.5%)	159社 (49.5%)
99人以下	123社 (38.3%)	59社 (18.4%)	64社 (19.9%)
100人以上 499人以下	118社 (36.8%)	73社 (22.7%)	45社 (14.0%)
500人以上	80社 (24.9%)	30社 (9.3%)	50社 (15.6%)



※本文中の「DI」とはDiffusion Indexの略

景気の現状、景気の先行き、正社員、非正規社員の過不足感に対する5段階の判断に、それぞれ以下の点数を与え、これらを各回答区分の構成比(%)に乗じて大阪労働局独自でDIを算出している。

- ・ 良い、不足している . . . . . +1.0
- ・ やや良い、やや不足している . . . . . +0.5
- ・ 変わらない、適正 . . . . . 0
- ・ やや悪い、やや過剰である . . . . . -0.5
- ・ 悪い、過剰である . . . . . -1.0

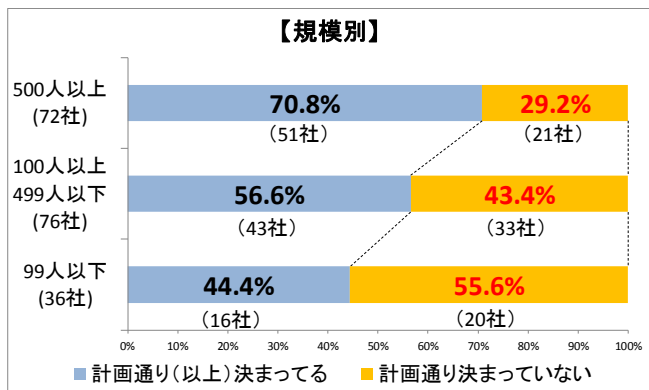
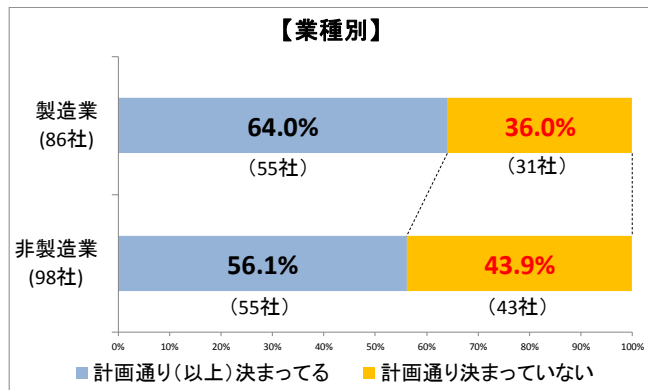
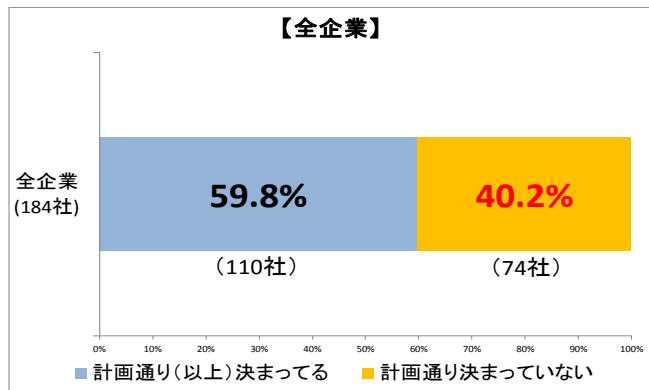
※ 構成比(%)については、小数点の調整により合計と各項目の足し上げが一致しない場合がある。

# 1 平成28年3月末の大学等卒業予定者※の採用選考状況について

※短大・高専・専修学校を含む

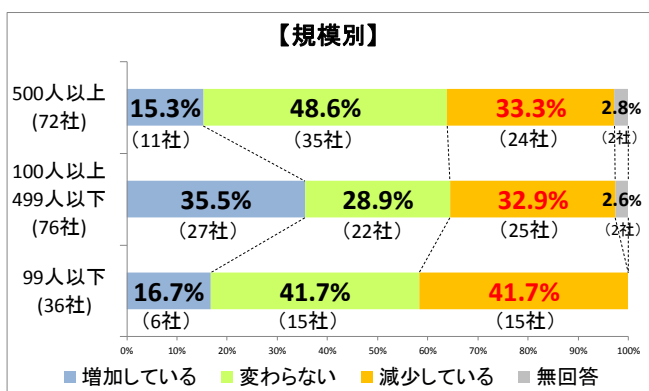
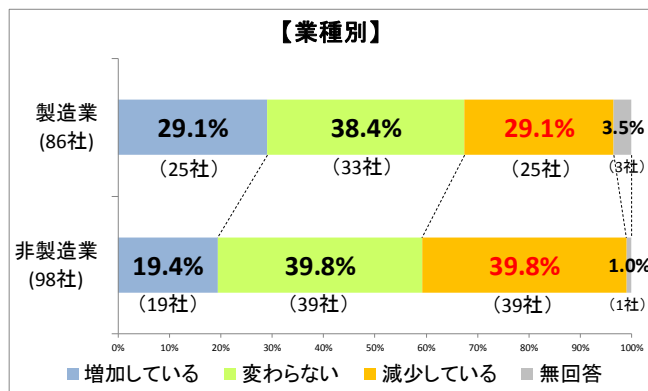
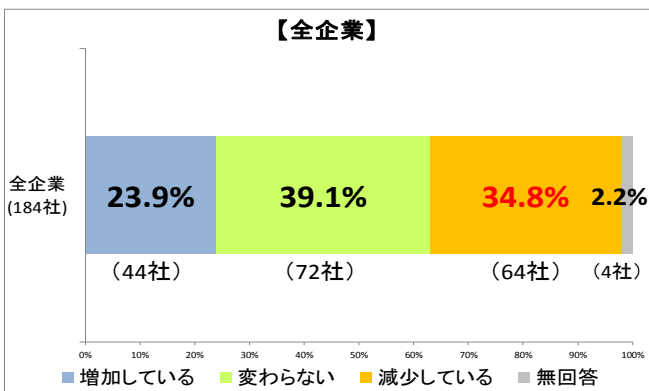
## (1) 内定者数について

当該項目における全企業：大学等卒業予定者を「採用予定なし」または「無回答」を除く184社



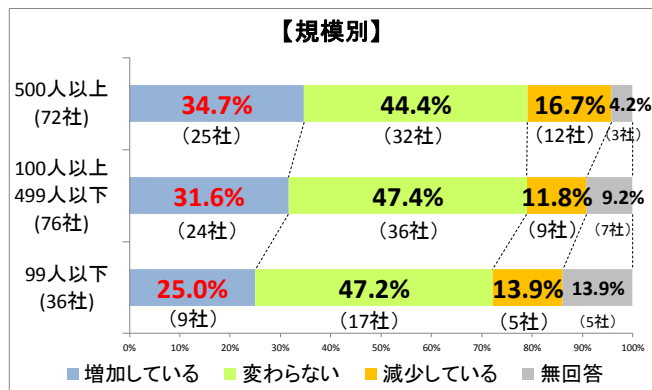
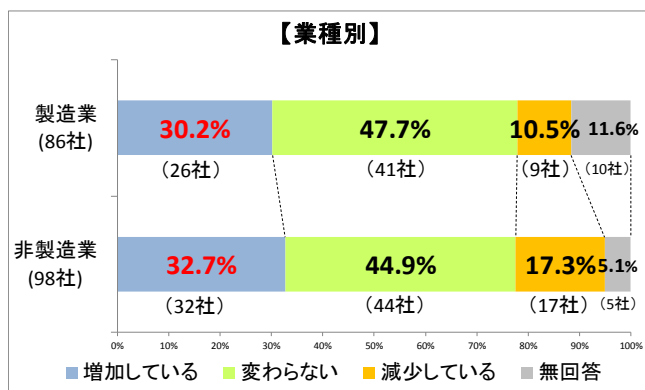
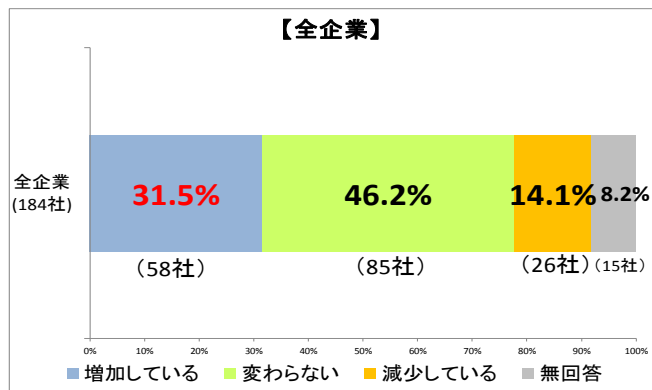
- ・平成28年3月末の大学等卒業予定者に対する**内定者数**については、**約4割(40.2%)**の企業が「**計画通り決まっていない**」と回答している。
- ・業種別にみると「**非製造業**」が、企業規模別にみると、**規模の小さい企業が**、「**計画通り決まっていない**」と回答している割合が高くなっている。

## (2) 昨年の同時期と比べた**応募人数**について



- ・昨年の同時期と比べた**応募人数**については、**3割以上(34.8%)**の企業が「**減少している**」と回答している。
- ・業種別にみると「**非製造業**」が、企業規模別にみると「**99人以下**」企業において、「**減少している**」と回答している割合が高くなっている。

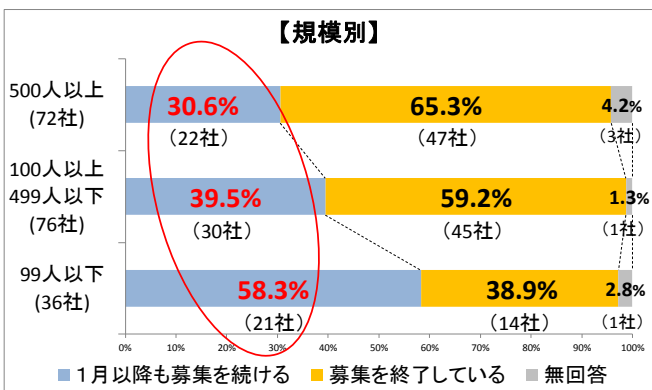
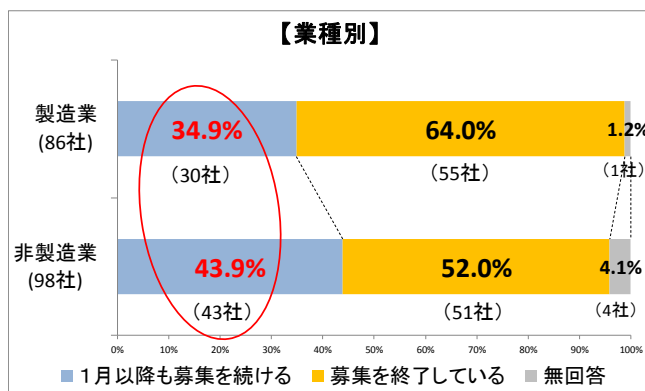
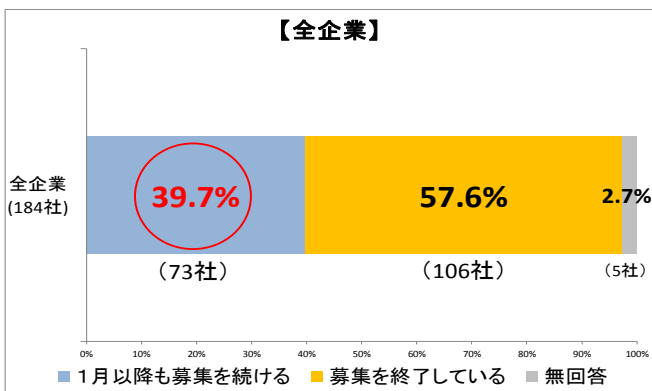
### (3) 昨年の同時期と比べた内定辞退者数について



・昨年の同時期と比べた内定辞退者数については、**3割以上(31.5%)**の企業が「**増加している**」と回答している。

・業種別にみると「**非製造業**」が、企業規模別にみると、**規模の大きい企業が、「増加している**」と回答している割合が高くなっている。

### (4) 今後の募集活動について

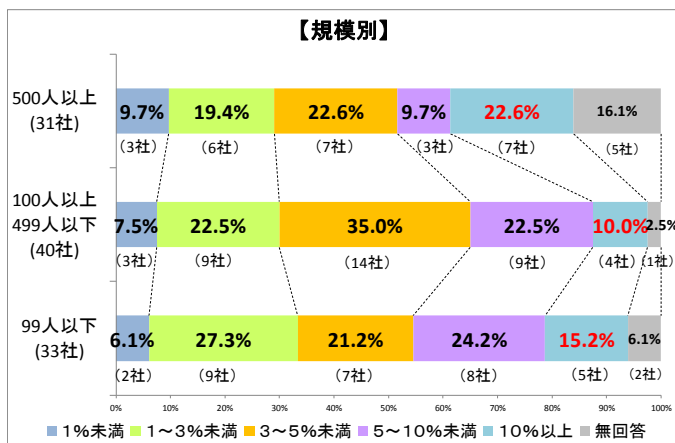
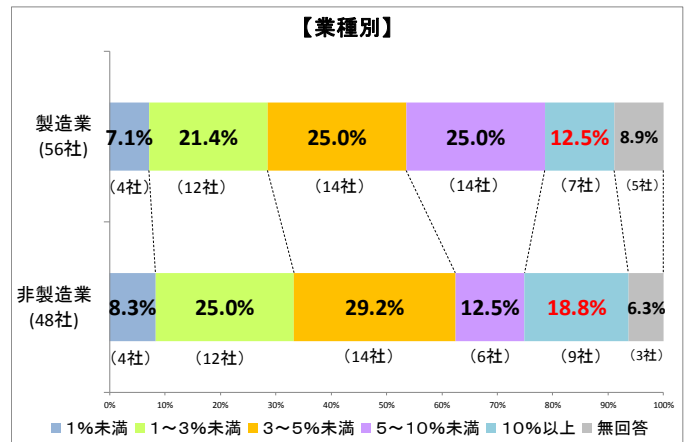
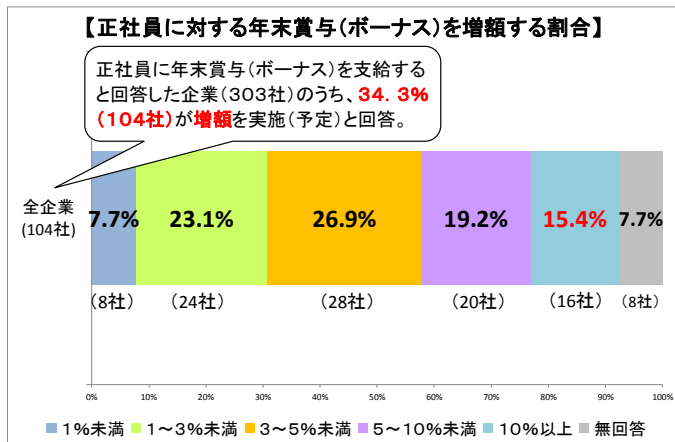


・今後の募集活動については、**約4割(39.7%)**の企業が「**1月以降も募集を続ける**」と回答している。

・業種別にみると「**非製造業**」が、企業規模別にみると、**規模の小さい企業が、「1月以降も募集を続ける**」と回答している割合が高くなっている。「**99人以下**」企業については、**約6割(58.3%)**が募集活動を続けると回答している。

- 積極的に大学等へ働きかけているが、いまだ内定者が出ていない。少なからず後ろ倒しの影響が出ていると感じている。特に**理工系の学生の採用は難しくなった**。(はん用機械器具製造業・100～499人)
- 早く内定を出しても大企業に取られる、辞退される恐れがある。そのため**内定を出すタイミングに苦慮**している。(電子部品・デバイス・電子回路製造業・500人以上)
- 就職・採用活動時期の変更に備え、**工場見学や説明会を通じ、学生との接点を増やしたことが功を奏した**のが順調に採用できている。(輸送用機械器具製造業・500人以上)
- 例年6月～7月に説明会をしているが、今年は大手の会社が同時期に説明会をする影響で**応募者が減少し、採用内定者の辞退も増えて**計画通りに採用が決まらない状況である。(道路貨物運送業・100～499人)
- 以前までは大手企業の採用選考が一段落したあと、10月以降も未内定者等が中小企業に応募していたが、就職活動開始時期の後ろ倒しの影響で**今年は応募者がかなり少なくなった**。(卸売業・99人以下)
- 時期が遅くなってからの内定辞退**の数が多くなった。(卸売業・100～499人)
- 今年は10月から11月に、内定者会にも出た後で辞退する人があった。これまでも辞退はあったが、**こんな遅い時期では初めて**。(卸売業・500人以上)

## 2 正社員に対する年末賞与(ボーナス)について



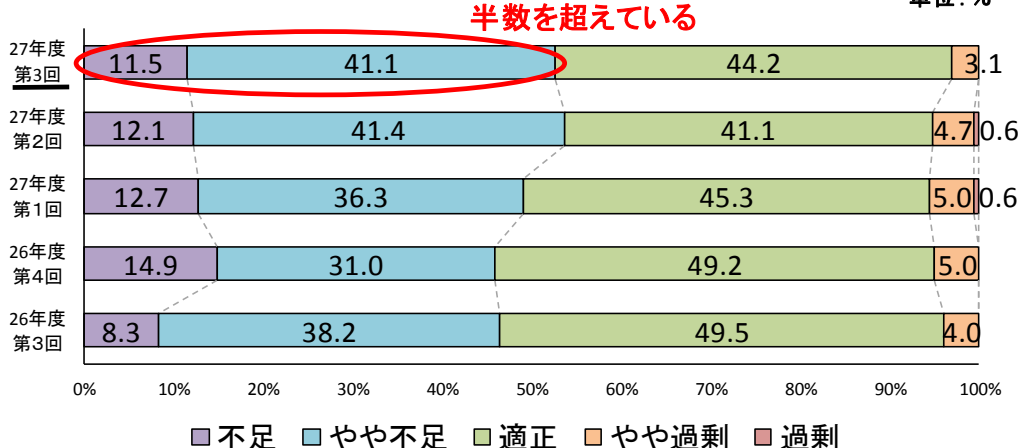
・正社員に対する**年末賞与(ボーナス)**を支給すると回答した企業(303社)のうち、**34.3%(104社)**が**増額**を実施(予定を含む)と回答している。そのうち**15.4%(16社)**が「**10%以上増額**」すると回答している。

・業種別にみると「**非製造業**」が、企業規模別にみると「**500人以上**」企業において、「**10%以上増額**」すると回答している割合が高くなっている。

### 3 正社員の過不足感について

【正社員の過不足感の状況について(全企業)】

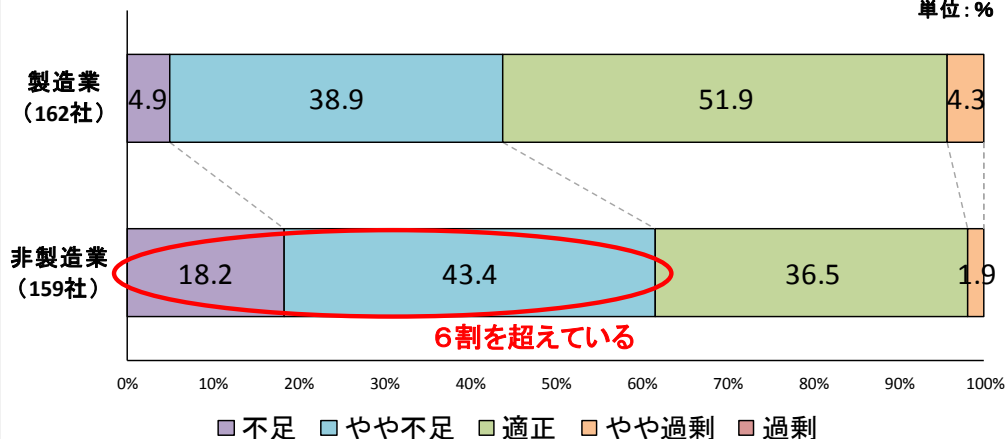
単位：%



・正社員について、「不足」「やや不足」と回答した企業は前回調査(9月調査)に引き続き半数を超え(52.6%)、人手不足感が高止まりしている。

【正社員の過不足感の状況について(27年度第3回・業種別)】

単位：%



・業種別にみると、「非製造業」では6割を超える(61.6%)企業が、正社員が「不足」「やや不足」と回答している。

#### ～企業の声～

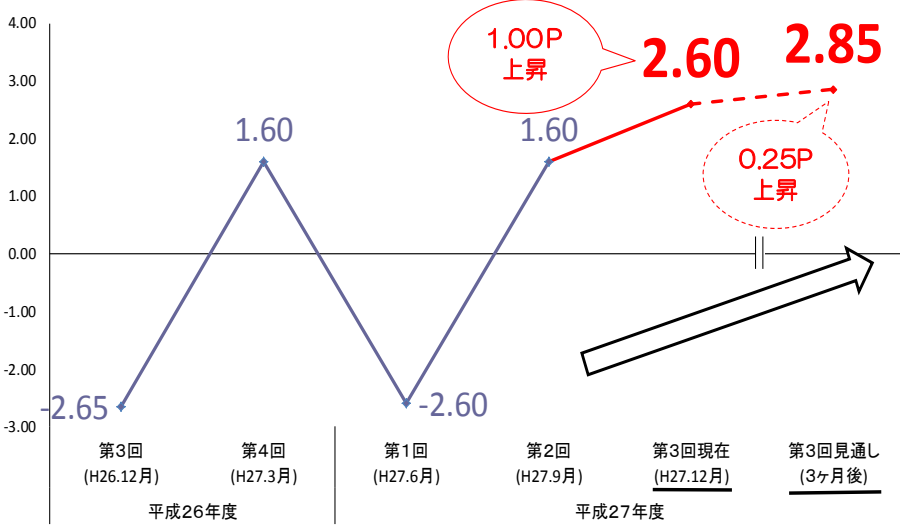
※(業種・企業規模)

- ・求人を出しても応募者が少ない。パート従業員を正社員に登用し、正社員を確保している。(金属製品製造業・99人以下)
- ・10年後の従業員の年齢構成を鑑み、高校卒業生を積極的に採用する予定。(食料品製造業・100～499人)
- ・今後の懸念は人手不足に尽きる。あらゆる媒体を利用して募集をかけているがなかなか応募がない。(小売業・99人以下)
- ・外国人労働者を、ここ数年正社員で採用している。(飲食サービス業・100～499人)
- ・関空の利用者数・離発着便数は増加しており、ハローワークや求人情報誌等での募集を続けていく。(航空運送業・100人～499人)

# 4 景況感について

※景況感DI:「良い」または「やや良い」と回答した企業の割合から「悪い」または「やや悪い」と回答した企業の割合を差し引くことによって算出した指数。

### 【景況感DIの推移(全企業)】



### 【全企業】

・平成27年12月現在の景況感DIは、9月調査(平成27年度第2回)より**上昇**(1.00ポイント上昇)し、2.60となった。  
 ※全企業(321社)の回答割合  
 「3か月前と比べた現在の景況について」  
**良い・やや良い:20.2%**  
 変わらない:63.9%  
 悪い・やや悪い:15.9%

・3か月後の見通しDIは2.85と**更に上昇**(0.25ポイント上昇)している。

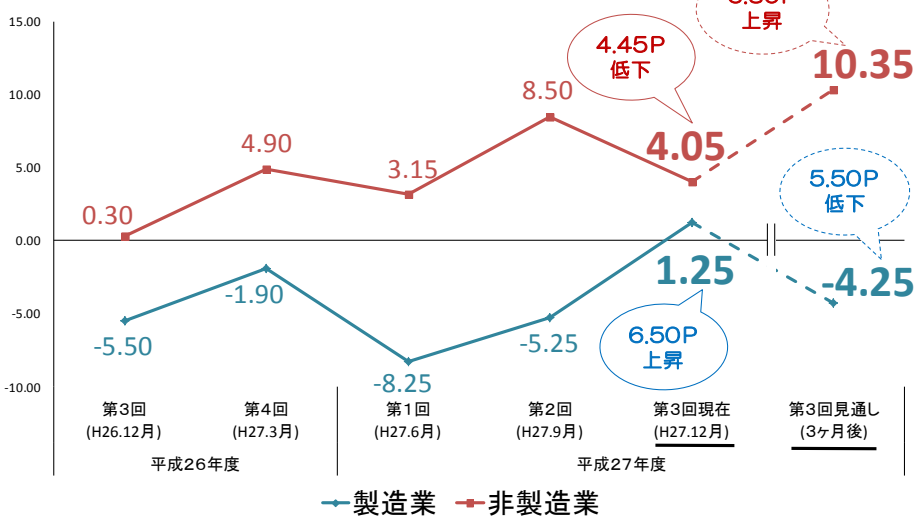
※全企業(321社)の回答割合  
 「3か月後の景況について」  
**良い・やや良い:20.8%**  
 変わらない:62.3%  
 悪い・やや悪い:16.9%

### 【業種別】

・平成27年12月現在の景況感DIは、**製造業**(1.25)は**上昇**し、**非製造業**(4.05)は低下しているものの、**非製造業の方が高い状況が続いている**。

・3か月後の見通しDIは、**製造業**(-4.25)は**低下**し、**非製造業**(10.35)は**上昇**している。

### 【景況感DIの推移(業種別)】



## ～企業の声～

※(業種・企業規模)

- ・**中国人観光客**の影響で大阪市内の店舗(百貨店内など)は大幅な売り上げ増加である。併設の喫茶室などもそれに伴い増加している。(食料品製造業・100~499人)
- ・繁華街の店舗では中国人の爆買いに対応するため、**留学生を中心に中国人の雇用**を実施している。(小売業・100人~499人)
- ・**外国人観光客**による、美容・健康関連家電の売れ行きが好調。影響は大きい。(卸売業・100~499人)
- ・**中国人観光客**等、外国人観光客の増加により当社の運営する宿泊施設は現在もフル稼働の状態である。(飲食サービス業・500人以上)
- ・大阪市内を中心に**新築マンション**等の仕事が続いており、**単価も上がってきている**。(建設業・99人以下)
- ・今まで大阪の景況は悪すぎたが、これから**商業施設・マンション**など幅広く受注が増えるように思う。(建設業・99人以下)